

## 第4回 SUCS シンポジウム

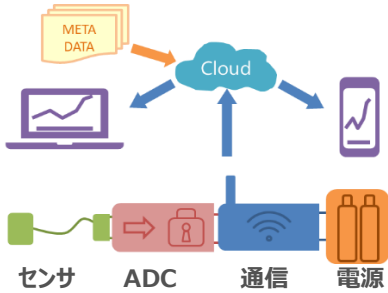
2025年2月28日(金) 13:10~16:50 機械振興会館

# 「IoT センサデータ活用の最前線 ~SUCS (ザックス) が切り拓く未来~」

### 開催趣旨

Society5.0の実現とDX化の進展、生成AIおよびロボットの利用拡大に伴い、人手不足解消などへのIoTセンサデータの利活用が重要性を増しています。これに対応するため、SUCS® (SENSPIRE® Universal Connecting System) コンソーシアムが2021年10月に設立されました。SUCSは日本発の高コストパフォーマンスで新しいセンサシステムを簡単に構築することを目的としており、センサ、AD変換、通信、電源の4つのユニットを簡単に接続してセンシングトレインが構築できます。また、クラウドサービスでのメタデータ活用により、専門知識がなくてもIoTデータの可視化が可能です。SUCSセンシングトレインの接続とクラウドサービスのガイドラインは、SUCSコンソーシアムのホームページより無料で入手することができます。

2024年度は、ガイドラインの見直しによるデジタルインターフェースセンサへの対応や4-20mA出力を取り込むことにより既存製品の接続も可能となり、幅広い応用と展開が期待されています。



さらには、センシングの新技术経営戦略を推進させるため、ブロックチェーンを用いたセンシングデータの管理・活用の開発が進行中です。

今後のSUCSおよびIoTセンシングの展開を確認いただくため官庁、産業界の講師の方々より関連するご講演をいただきます。会員のみならず非会員の皆様へも幅広く声を掛けさせていただきますので、ご興味・ご関心のある皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。対面のみでの開催となり、当日はデモ機を触っていただくことも可能です。

※1：SUCSは、(一社)次世代センサ協議会の登録商標である。

※2：SENSPIREは、Sensor×Inspireの造語であり(一社)次世代センサ協議会の登録商標である。

### プログラム

13:10~13:45 35分	<b>SUCS がもたらす新しいセンシング技術経営戦略</b> SUCS CSの活動は新しい段階に入ろうとしている。目標は言うまでもなく、潜在的ではあるが想像される膨大なセンシング技術市場の開拓にあります。この為、センシング系を簡単に実現できるセンシングフレームワークとして、そのプロトタイプ実現に努力を注いでいます。一方、ペイクル、UPCXとの連携によるブロックチェーン活用によるセンシングデータの機密性に富んだ収集・保管・活用方式の開発も開始されました。本講では、SUCSの新技术経営戦略を概括しセンシングデータの重要性と効用を再認識するサブスクリプション方式についても触れます。 <b>SUCS コンソーシアム代表/東京工業大学名誉教授/次世代センサ協議会会長 小林 彬 氏</b>
13:45~14:20 35分	<b>機械振興協会の活動とSUCSへの期待</b> 機械振興協会(わが国機械産業の発展に寄与することを目的として1964年に設立されました。当協会技術研究所は機械産業における経営改善、技術の向上、その他機械産業の振興を図ることを目的として、調査、研究開発、情報提供、技術開発の表彰などを行っています。中堅、中小の機械産業や農業、食品加工などの自動化にも注力しており、SUCSなど、簡単に多数のセンシングデータを集約する技術への期待は大きいと考えています。 <b>一般財団法人 機械振興協会副会長/技術研究所長 西本 淳哉 氏</b>
14:20~14:55 35分	<b>AIロボティクスの開発促進</b> 慢性的・構造的な人手不足が深刻化する中、従来はロボットによる自動化が困難とされてきた領域(いわゆるロングテール市場)でも活躍できるロボットシステムの開発を促進し、様々な業種において人手不足解消や生産性向上につなげる必要があります。このため、既存のSIerに加えスタートアップ等の多様な主体が、センサやロボットアーム等のハードウェアと、AIの活用を含む多彩なアプリケーションを組み合わせたロボットシステムを創出することができるオープン開発環境の構築に取り組んでいます。 <b>経済産業省製造産業局産業機械課ロボット政策室 室長 石曾根 智昭 氏</b>
14:55~15:15 20分	<b>SUCSの接続標準とデモの説明</b> SUCS1.0によりセンシングトレインとクラウドサービスの標準化を行い、SUCSのユーザに与えるメリットを説明します。また、本日実施しますデモ展示の内容を紹介します。 <b>SUCS コンソーシアム 幹事/アズビル株式会社 古川 洋之 氏</b>
15:15~15:35 20分	<b>休憩+SUCSデモ展示</b>
15:35~16:05 30分	<b>ブロックチェーン x センサ x IoT: 基本知識、活用事例とUPCXとの将来像</b> UPCXという名称のブロックチェーンの特徴について紹介したのち、ブロックチェーンとはどういうものか、その基本的概念について説明します。次に、IoT分野におけるブロックチェーンの活用事例を紹介します。最後に、UPCX、PAYCLEとSUCSが作りた世界イメージを示します。 <b>UPCX-Platforms Pte.Ltd, Co-Founder and CTO Alexander Weisshaar 氏</b>
16:05~16:25 20分	<b>SUCS 1.0 標準の追加検討、J-mind 上野氏の取り組みの紹介</b> SUCS1.0標準追加として検討を行っている既存製品の4-20mA出力の接続とデジタルインターフェースセンサの対応を説明します。 J-mind 上野氏が取り組んでおりました”よろずセンサープラットフォーム”を紹介させていただきます。 <b>SUCS コンソーシアム WG1 リーダー/アズビル株式会社 古川 洋之 氏</b>
16:25~16:30 5分	<b>閉会の言葉</b> <b>SUCS コンソーシアム代表/東京工業大学名誉教授/次世代センサ協議会会長 小林 彬 氏</b>
16:30~16:50 20分	<b>SUCS デモ展示</b>

**日時** : 2025年2月28日(金) 13:10~16:50

**場所** : 機械振興会館 (<https://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>)  
B3-1 議室 (地下3階)

**主催** : 一般社団法人次世代センサ協議会

**参加費** : SUCSコンソーシアム会員 無料 (1社3名まで)

SUCSコンソーシアム会員以外 5,000円 (懇親会費含む)

※参加費は懇親会の出欠に関わらず一律です。

※お申込み後、請求書を送信致します。口座への振込みをお願い致します。なお、当日現金でのお支払いは承っておりません。

**参加定員** : 50名

**懇親会** : 17:00~ 19:00

**場所** : 機械振興会館「若松」 (地下3階)

**申込方法** : 事前登録制となっておりますので、参加ご希望の方は下記【お申込みはこちらから】ボタンよりお申込みください。

**お申込みはこちらから**

**お問い合わせ先** : 一般社団法人次世代センサ協議会 事務局  
E-mail : [office@jisedaisensor.org](mailto:office@jisedaisensor.org)